

平成26年度 中頭地区地区別ブロック型研究会 学力調査官招聘「教科指導改善研修会」＜英語＞ 実施要項

- 1 趣 旨： 今年度の中頭地区ブロック型研究会テーマである「思考力，判断力，表現力を育てる授業づくり」について，授業参観や協議等及び指導助言を通して具体的な授業づくりへの理解を深めることで，指導方法等工夫改善の日常的な実践，校内への波及につなげる。
- 2 主 催： 県教育庁義務教育課
- 3 主 管： 県教育庁中頭教育事務所
- 4 日 時： 平成26年10月8日（水） 14：05～14：55
（受付13：50～14：05）
- 5 場 所： 宜野湾市立 宜野湾中学校
- 6 参加者： 英語科指導方法等工夫改善教諭
- 7 日 程

時 間		事 項	内 容
13:50～14:05	15分	受 付	出席受付、資料配布
14:05～14:55	50分	研究授業	授業者 宮川龍寛 教諭 单元名 Lesson3「“For Our Future”」 ～Further Reading 1～ 教科書 NEW CROWN 2 三省堂
14:55～15:10	15分	移動・休憩	授業研究会場へ移動（被服室）
15:10～15:11 15:11～15:13	2分	授業研究会	(進行 又吉直正) 1 開会のことば 進行
15:13～15:16	3分		2 趣旨説明および講師紹介 担当主事 又吉直正
15:16～15:21	5分		3 学校長あいさつ 校長 山内一秀
15:21～15:36	15分		4 授業説明 授業者 宮川龍寛
15:36～15:48	12分		5 研究協議
15:48～16:44	56分		6 協議内容発表 7 指導助言及び講評 国立教育政策研究所
16:44～16:45	1分		8 閉会のことば 進行 又吉直正 (諸連絡) ※閉会后、アンケート記入にご協力下さい。

- 8 研究協議について
 - (1) ワークショップを行います。
 - (2) 青色と黄色の付箋紙（2.5cm×7.5cm程度）を持参して下さい。
 - (3) 授業を見ながら、良さを青い付箋紙に、課題・質問事項を黄色い付箋紙に記入をお願いします。
- 9 駐車場について

○当日の駐車場はグラウンドになります。※雨天の際は別の場所に案内誘導があります。

宜野湾中学校学力調査官招聘「中学校英語授業改善研修会」10月8日(水)

～研究と公開授業の様子～

指導方法等工夫改善研修会の代表授業者として、今年度は宜野湾ブロックから宜野湾市立宜野湾中学校の宮川龍寛先生が日頃の実践を公開授業を行った。当ブロックでは主題に「『思考力、判断力、表現力』を育てる授業づくり」をテーマに、副題には「県学力到達度調査から見える課題を改善する授業づくりをとおして」据えて研究を推進してきた。昨年度の県学力到達度調査結果から「読むこと」に関する問題の正答率が低いことが明らかになり、教科書 NEW CROWN の LESSON3 For Our Futureの単元の発展的な読み物資料「Further Reading1 Costa Rica」に焦点をあて、既習事項を活用しながら長い文章の読解に挑戦する授業を展開している。

宮川教諭は英文を読み込む指導の工夫として、ICTの活用や文中の代名詞の意味理解、英文の内容理解を促す質問項目の工夫、考える時間の保障の大切さについて提案している。

普段、英語の公開授業では長文読解を扱う場合が少なく、参加者からは「長文読解のコツを掴んだ」「長文の内容に入る前の基本情報の生徒への提供は英文を読もうという気持ちを高めてくれる」など大きな反響があった。

◇授業のポイント

- ・ Classroom Englishの充実
- ・ ICT（文章の投影・DVDなど）の効果的な活用
- ・ 学習指導要領の「読むこと」の言語活動の具体的な実践提案
- ・ 教科経営の徹底と授業の成立関係が見える
- ・ 長文読解の方法をしっかりと教える（教師の役割）。と生徒の考える（思考させる）時間の保障が見られる。
- ・ 教材研究の充実と指導内容の精選が見受けられる。
- ・ 生徒が楽しく授業に参加している。



◇平木調査官からのコメント

- ・ 指導案の作成では特に教材観、生徒観～指導観が上手にまとめられているので参加者も参考にしてほしい。
- ・ 英語の授業を英語を使って授業を進めていたのは素晴らしい。今後も英語を多用しながら授業に臨んでほしい。
- ・ 参加者全員に対して・・・
学習到達目標を常に意識し、「本単元の学習の積み重ねの先にどのような能力が子ども達に身につくのか」を念頭に置き、目標とその指導とその後の評価の大切さを感じてほしい・・・と助言をいただきました。
- ・ 試案版として「CAN-DOリスト」を日頃の授業に生かす目的で指導案例を示しますがこれからの授業づくりに参考にしてほしい。